

日本経営学会 学会ニュース

NO.63
2023.04

JABA

Japan Academy of Business Administration

<https://keiei-gakkai.jp/>
〒162-0808 東京都新宿区天神町 78
jaba@keiei-gakkai.jp

Topics

- 日本経営学会第 97 回大会 (2023)
- 日本経営学会第 98 回大会 (2024)

- 活動報告
- 事務連絡
- 巻末資料

- ・ 第 97 回大会 (2023) 報告者募集



日本経営学会第 97 回大会 (2023)

統一論題テーマ「社会変容と経営学」

2023 年 9 月 4 日 (木) ~ 9 月 7 日 (木)

於：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

第 97 回大会プログラム委員長 今西宏次

日本経営学会第 97 回大会は、2023 年 9 月 4 日 (月) から 9 月 7 日 (木) (ただし 9 月 4 日は常任理事会・理事会・各種委員会のみ開催予定) の日程で、神戸学院大学ポートアイランドキャンパス (神戸市中央区港島 1-1-3) にて開催されます。本年は、対面のみでの開催を予定しております。COVID-19 感染はほぼ終息状態にあるとはいえ、現時点でも感染を危惧される会員もおられるのではないかと思います。対面のみでの開催で、オンラインでの中継は行いませんので、会員の皆様にはご不便をおかけすることになるかも知れませんが、どうかご理解いただきますようお願い申し上げます。

さて、今大会の統一論題のテーマは、「社会変容と経営学」です。2019 年からの 4 年近くの間、日本企業および日本の産業は、COVID-19 の影響により、多くの打撃を受けてきました。今後しばらくの間は、多様な経済活動に影響が残ると考えられます。この世界的に広がった疫病に対して、企業経営は無力だったといえ、企業自らの力で、経営行動や危機管理、組織の継続をコントロールできなかつたといえます。

企業経営は社会の中で活かされており、社会が変容すれば、それに応じて対応しなければなりません。社会変容が企業の危機となり、一方でチャンスともなります。また、現代は、ステークホルダー資本主義の時代と言われています。株主利益のみならず、社会変容との関係性を考慮した上での経営行動が求められていると考えられます。私たちは、学会として、このような社会変容に対して経営学がどのように答えるのかを探究しなければならないと考えています。

サブテーマにつきましては、①持続可能な社会と経営学の役割—2050 年の経営学、②グローバリズムの中の日本企業、③デジタル・トランスフォーメーションと経営課題を設定しております。今大会

大会ホームページのご案内



日本経営学会第 97 回大会ホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.keiei97.jp/>

学会ホームページのご案内



日本経営学会ホームページは随時最新情報を更新しております。学会ニュースではカバーできない急ぎの事項も随時掲載いたしますので、折にふれてご確認いただければ幸いです。

- ・ 大会案内
- ・ 部会案内
- ・ 入会案内、変更申請
- ・ 特別会員申請
- ・ 学会ニュースバックナンバー
- ・ 会員書籍紹介
- ・ 年会費納入 など

では、サブテーマでの報告・討論を通じて、持続可能な開発目標（SDGs）の実現、グローバルizmやICTの浸透という社会変容に対して、日本の経営学や企業がどのように対応していくのか、さらには日本企業再生の方向性を考察することが期待されています。

なお、従来通り、プログラムには自由論題、院生セッション、ワークショップも含まれる予定です。詳細はこの学会ニュースの「日本経営学会 第 97 回大会（2023）報告者募集」に記載しております。

多くの会員の皆様のご参加を賜り、お会いできますことを心よりお願い申し上げます。

日本経営学会第 97 回大会実行委員長 挨拶

第 97 回大会実行委員長 神戸学院大学 井上善博

日本経営学会第 97 回大会は、2023 年 9 月 4 日（月）から 7 日（木）（ただし、9 月 4 日は常任理事会・理事会・各種委員会のみで開催予定）の日程で開催されます。コロナ感染症の蔓延が落ち着いてきたことを鑑み、第 97 回大会は対面で開催を致します。数年ぶりに対面開催となり、多くの会員の皆様にお会いできますことを心待ちにしております。開催場所は、神戸学院大学ポートアイランドキャンパスでございます。本キャンパスは、神戸市のポートアイランドの西岸に面しており、海側から神戸市内の景色を展望できる場所に立地しております。神戸空港からは 20 分程度、新幹線の新神戸駅、JR・私鉄各線の三宮駅からのアクセスも良好です。



今大会の統一論題テーマは、「社会変容と経営学」です。コロナ禍の 3 年間に人々の行動様式は一変しました。人々の動きに呼応して、企業の行動様式も変化しつつあります。危機の中で、持続可能な社会を実現するために、経営学はどのように貢献できたのか、そして、今後 2050 年までに経営学はどのように進化していくのか、皆様と考えていきたいと存じます。

さて、2022 年に学校法人神戸学院は創立 110 年を迎えました。そして、2023 年には経営学部にてデータサイエンス専攻を設置し、新たな時代の経営学教育が始まりました。このような節目に、日本経営学会第 97 回大会を開催できますことを心より御礼申し上げます。大会の運営にあたりまして、経営学部と経済学部の教員を中心に、会員の皆様が快適に過ごせますよう、対応させていただきます。充実した大会運営ができますよう、本学教員を中心に準備をまいります。多くの会員の皆様のご参加を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

日本経営学会第 98 回大会の開催校について

第 98 回大会実行委員長 中央大学 咲川 孝

この度は、2024 年度、中央大学に第 98 回日本経営学会の開催をさせて頂きまして、身に余る覚えです。中央大学で最後に開催されましたのは、1980 年 9 月の第 54 回大会でした。以来の開催をこの度、お引き受けさせて頂きます。その際の、統一論題は「80 年代の企業経営」であり、サブテーマからのその当時の、先生方の問題意識がよく理解できます。時代は、その後、大きく変わり、その際にご報告された先生、当時の経営学会の会員の先生の中かで、現在も経営学会の会員である方は、数少ないと思われます。最近でいえば、コロナ禍もあり、さらに遡れば日本のバブル経済の崩壊など、日本企業に影響を与えた数多くの出来事があり、日本企業もその後、変化したと思われます。当時の中央大学の先生、経営学会の先生の想いを引き継ぎ、2024 年の大会を開催させて頂きます。伝統あります経営学会のさらなる名声を高めるように、大会に向け、準備をして参ります。会員の先生には、ご協力、ご指導のほど、宜しくをお願いをします。

広報委員会より

広報担当常任理事 松田 健

●メールングリスト【JABA-ML】登録のお願い

ご存知の方も多いかとは存じますが、現在日本経営学会では日本経営学会メールングリスト（JABA-ML）を用いて、学会ニュースや部会開催情報などを配信しています。まだメールングリストにご登録いただけていない会員各位には、ぜひ学会ホームページよりメールアドレスをご登録下さいますよう、お願いする次第です。



また、新年度になりメールアドレスの変更を希望される場合は、学会ホームページの「変更申請」より、ご連絡下さい。今後とも JABA-ML による学会情報の発信にご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

●ホームページ会員の**新刊書籍紹介**の募集

学会ホームページでは、書籍の編著者である会員ご本人からの希望に基づいて、出版後1年以内の書籍の紹介を掲載しています。書籍紹介を希望される会員におかれましては、編著者名、書籍名、出版社、発売日、ISBN、ならびに必要なに応じて200字程度の紹介文を、学会事務局までメールにてお送り下さい。掲載の期間は、掲載後1年間とします。なお、紹介文に不適切な表現がある場合には、修正をお願いする場合や掲載をお断りする場合があります。学会ホームページの充実にご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

活 動 報 告

部会開催状況

総務担当常任理事 田淵泰男 上林憲雄

北海道部会では、2022年12月3日（小樽商科大学）、2023年4月29日（北海学園大学、経営哲学学会北海道部会および日本生産管理学会北海道・東北支部との共同開催）に、対面およびzoomによるオンライン参加可（ハイブリッド）として例会が開催されました。

東北部会では、2022年12月24日に、弘前大学が主管してzoomで例会が開催されました。

関東部会では、2022年10月29日（明治大学）に関東部会総会および例会、11月26日（駒澤大学）に例会、12月17日（専修大学）にシンポジウム（テーマ：変化が常態化する世界とダイナミック・ケイパビリティ）、2023年3月25日（法政大学）、4月22日（日本大学商学部）に例会が、対面形式により開催されました。2023年4月以降、懇親会（3年間コロナ禍で休会）も再開することになりました。今後、2023年5月20日（明治大学）に例会、6月17日（早稲田大学）にシンポジウムの開催が予定されています（7月にも例会開催予定）。

中部部会では、2022年12月3日（名古屋大学）、2023年3月11日（中京大学）、4月22日（愛知淑徳大学）に、対面にて例会が開催されました。

関西部会では、2022年10月1日（龍谷大学、ハイブリッド）、11月19日（オンライン）、12月17日（広島修道大学、ハイブリッド）、2023年1月7日（オンライン）、4月15日（同志社大学、ハイブリッド）に例会が開催されました。この間、Covid-19の感染の波に応じ、Zoomを用いたオンライン方式（関西部会事務局主管）ないし対面とオンラインを併用したハイブリッド方式による開催となりました。今後、5月20日、6月10日、7月15日にも例会開催が予定されています。



九州部会では、2022年12月10日（オンライン）、2023年2月18日（オンライン）、4月15日（九州共立大学、ハイブリッド）に例会が開催されました。オンラインでの開催時には、九州部会事務局主管でZoomを用いて執り行われました。今後、9月9日、12月9日を候補日として例会開催が予定されています。

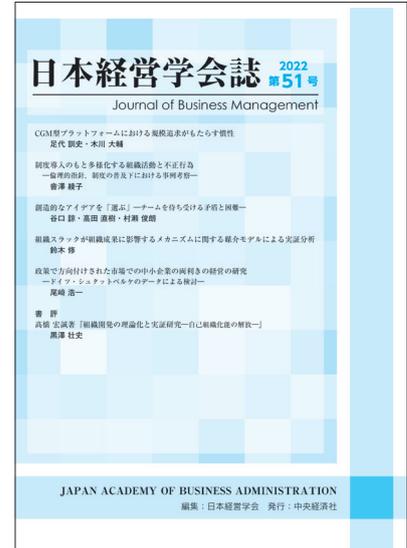
学会誌編集状況

学会誌編集委員会 委員長 小沢 貴史

まずは学会誌の編集状況をお知らせいたします。2021年の総投稿数は32本、採択数は12本、採択率は37.5%、平均審査日数143日となります。東西の内訳は、東日本6本、西日本6本となります。2022年の総投稿数は28本、現状(2023年4月下旬)では、採択数は6本、採択率は21.4%、平均審査日数141日となっています。東西の内訳は、東日本2本、西日本4本となります。また審査中論文が5本あります。2023年の投稿数は8本であり、うち1本は却下、7本は審査中です。

続いて学会誌刊行状況をお知らせいたします。投稿論文号である第52号と、経営学論集第93集である第53号が、いずれも校正の段階に入っております。2022年以降の刊行年月は、次の通りです。第49号：2022年5月（経営学論集第92集）、第50号：2022年8月、第51号：2022年12月、第52号：2023年5月に刊行予定（査読付き論文4本、書評2本を掲載予定）、第53号：2023年6月に刊行予定（経営学論集第93集）。学会ニュースの場をお借りして、投稿論文の審査を担当頂いた編集委員、及び厳正な審査をして頂いた査読者の先生方に、厚くお礼を申し上げます。

会員の皆様には、学会誌に積極的に投稿して頂きたくお願い申し上げます。その際には、学会員であるとともに、当該年度の学会費をお支払い済みであること、及び投稿規定と執筆要領に従ったご投稿をお願いします。



国際活動状況

国際委員会委員長 原 拓志

IFSAMのGeneral Assembly Meetingが2022年12月15日にオンラインで開催され、日本経営学会からの代表として日野健太理事と原が出席しました。主な決定事項は下記の通りです。

- ① IFSAM プレジデント（任期2023年1月～）に British Academy of Management のプレジデントである Nic Beech 教授（Middlesex University）が選出されました。
- ② IFSAM の新たな Advisory Council メンバーとして、Kerry Brown 教授（オーストラリア）、Patricia (Trish) G. McLaren 博士（カナダ）、Luis Á Guerras-Martin 教授（スペイン）が選出されました。
- ③ 新たに4団体の IFSAM 加盟申請が承認されました。これにより、IFSAM の加盟団体数は27となり史上最大規模になったとのこと。新加盟団体は次の通りです。SMS (Strategic Management Society)、AEI (the Académie de l'Entrepreneuriat et de l'Innovation)、AIM (Association Information et Management)、IAM (Irish Academy of Management)。

国際委員会の委員が半数入れ替わりしました。長年に渡って築かれてきた IFSAM やドイツ経営学会との関係を維持・拡充するとともに、他国の経営関連学会との連携や会員へのタイムリーな情報提供など、会員の国際的学術活動の促進のために努めてまいりたいと存じます。どうぞ宜しくお願いします。

関連団体の活動状況

日本経済学会連合

経営学会連合評議員 馬場杉夫 三和裕美子

2022年10月24日オンラインにて、日本経済学会連合の評議員会が開催されました。

会計の中間報告、創設70周年記念事業の経過、第3次補助申請審査報告、英文年報42号の状況について報告がなされました。

また以下の点について協議しました。第1にEBSCOより英文年報の収録依頼があり、収録契約を進めることになりました。第2に年末締め切りのアカデミック・フォーラムについての企画募集がなされました。第3に2023年度は役員改選の年であり、郵送投票で実施することとなりました。

事務連絡

■ 年会費納付方法のご案内

納入種別	手数料負担	
払込取扱票	学会	学会発行の赤色払込取扱票にて郵便局から払込
請求書払い	振込人	機関経理などによる振込 団体名で入金となる場合は必ずご連絡ください
銀行振込	振込人	金融機関 ATM、インターネットバンキング等から振込
PayPal (ペイパル) 決済	学会	オンライン決済代行サービスの利用 クレジットカード決済、定期請求

〔振込先口座〕 ゆうちょ銀行 店番〇一九(ゼロイチキュウ) 当座 0075175
郵便振替 00150-1-75175 日本経営学会

PayPal 決済をご希望の会員は個別にご請求を発行しますので学会事務所までご連絡ください。個別書面は原則電子発行でのご対応となります。ペーパーレス化にご協力をお願い申し上げます。2022年度年会費納入がお済みでない方は早急にお手続きのほどお願い申し上げます。

■ 変更申請はお早めに

所属機関やメールアドレスなど会員情報に変更がある場合にはホームページの「変更申請」よりご連絡ください。ご所属変更後に学会誌がお届けできなくなってしまう事が多くあり、再手配には期間がかかりますのでどうかお早めにお手続きください。

日本経営学会 第 97 回大会（2023）報告者募集

最新情報は、大会ホームページ（<https://www.keiei97.jp/>）に随時更新していますのでご確認ください。
大会に関するお問い合わせは、下記の大会プログラム委員会事務局までお願いいたします。

自由論題報告者募集（CFP方式）

各部会推薦により自由論題報告者を決定する方式とは別に、各会員の自発的応募によりプログラム委員会が自由論題報告者を審査選考する方式を採用しています（コールフォーペーパー：CFP方式）。特に大学院生会員に対して報告機会を拡充することを意図しておりますので、奮ってご応募下さい。なお、英語セッションを設けておりませんが、自由題報告を英語でしていただくことは可能です。共同報告の場合には、申し込み時点で全員が会員であることが必要です。

- 1) 設定報告者数 合計 35 名程度（①一般会員 20 名程度 ②大学院生会員 15 名程度）
- 2) 報告討論時間 ①一般会員：報告 20 分 + 質疑 15 分計 35 分②大学院生会員：報告 15 分 + 質疑 10 分計 25 分
会場設定の都合等を考慮し、大学院生会員の中から一般会員枠での発表に変更される可能性があることをご了承ください。変更をお願いする場合には、事前にプログラム委員会から報告者にご連絡を申し上げます。
- 3) 応募締切り **2023 年 4 月 25 日（火）**
- 4) 応募申込方法 大会ホームページから応募（<https://www.keiei97.jp/application.html>）
①報告者のお名前、②ご所属、③メールアドレス、④職位、⑤報告タイトル、⑥報告要旨（問題意識・論点・視点・主たる知見等、1,200 文字以内で作成）、⑦使用言語（日本語・英語：英語を使用するセッションを自由論題報告の時間帯に設けます）を報告申し込みフォームにご入力ください。
- 5) 諾否審査の通知 プログラム委員会にて審査・選考し、5 月末日までに決定し、メールにて通知致します。
- 6) 報告要旨集原稿の締切りと提出方法
①締切り **2023 年 7 月上旬**（報告確定者には別途日時を通知します）
②提出方法 報告要旨集原稿は後日お知らせするフォームにアップロードをお願いいたします。
許諾の通知から原稿提出の締切りまで短期間ですので、ご理解の上ご応募下さい。

ワークショップの報告者募集

- 1) 設定件数 2 件程度
- 2) 応募締切り **2023 年 4 月 25 日（火）**
- 3) 応募申込方法 大会ホームページから応募
①報告者のお名前、②ご所属、③メールアドレス、④職位、⑤報告タイトル、⑥報告要旨（問題意識・論点・視点・主たる知見等、1,200 文字以内で作成）、⑦使用言語（日本語・英語）を報告申し込みフォームにご入力ください。
- 4) 諾否審査の通知 プログラム委員会にて審査・選考し、5 月末日までに決定し、メールにて通知致します。

ペーパー展示会の参加募集

論文の抜刷やワーキング・ペーパーによる大会参加を募集します。会員が事前に掲示希望の届けをすれば、論文の抜刷やワーキング・ペーパーを自由に持ち込んで掲示・配布することができます。

ただし、設定件数に制限はありませんが会場設営等の都合もありますので、希望者は 2023 年 7 月 31 日までに、下記大会メールアドレスまでお申し込みください。

各種申込先・問合せ先

日本経営学会第 97 回（2023 年）大会プログラム委員会事務局

専用メールアドレス：jaba2023@eb.kobegakuin.ac.jp

日本経営学会第 97 回大会実行委員長 井上善博